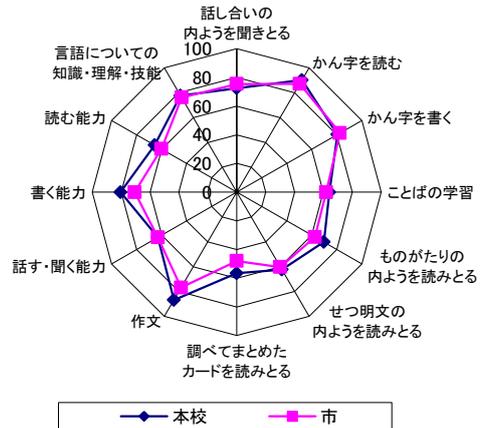


# 宇都宮市立平石北小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	72.5	75.4
	かん字を読む	90.2	87.2
	かん字を書く	80.4	82.5
	ことばの学習	64.1	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	69.6	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	62.3	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	56.5	48.0
	作文	87.0	76.8
観点別	話す・聞く能力	63.0	63.0
	書く能力	80.4	70.6
	読む能力	65.5	60.2
	言語についての知識・理解・技能	77.7	76.3



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	正答率は70%を超えているが、市と比較するとやや低い。特に、話し方の工夫の共通点を見付けることができていない。	日常的に、話の聞き方のポイントを意識させていく。授業中は、友だちの意見と自分の意見を比較する機会を多く設けたり、発表の仕方を工夫したりしていけるようにする。
かん字	読む問題では正答率が90%を超え、市と比較するとやや高いが、書く問題では正答率は80%でやや低い。2年生で習った漢字の中でも、あまり普段使わない漢字での正答率が低くなっている。	繰り返しドリルやノートなどで練習する。既習の漢字については、プリントなどを使って自分でも意識して練習できるようにする。
ことばの学習	正答率は市と比較するとやや高いが、国語辞典の使い方については特に正答率が低い。	授業中、分からない言葉の意味を辞典で引くようにする。朝の学習の時間にプリントなどで復習する。
ものがたりの内ようを読みとる	正答率は市と比較するとやや高い。特に、登場人物の気持ちの読み取りでは正答率が高い。	物語教材については、引き続き、文章中の言葉に着目させながら登場人物の気持ちを読み取るようにしていく。
せつ明文の内ようを読みとる	正答率は市と比較してやや高い。特に、細かい点に注意して読みとる問題では正答率が高いが、文章の要点に注意して読み取る問題では正答率が低い。	段落の中の要点に結びつく言葉を探したり、それを用いて要点をまとめたりする活動を、授業を通して繰り返し行っていく。
調べてまとめたカードを読みとる	正答率は市と比較すると高いが、数値的には低い。資料の読み取りはよくできているが、適切な言葉づかいについてはあまりできていない。	教科書教材を用いて、資料から必要な情報を読み取る練習をしていく。また、適切な情報を活用しながら、相手に応じて言葉づかいを考え、分かりやすく伝えていく活動にも、授業や日常を通して取り組んでいく。
作文	市の平均と比較すると、正答率が高い。書く内容の中心を考えたり、理由をあげて自分の意見を述べたりすることができる。	今後も様々な題材で話をしたり作文を書いたりする機会を設けていく。また、授業中、自分の思いや感想など書く活動を多く取り入れていく。